

教員公募要項

香川大学創造工学部

1. 主担当コース名	2. 専門分野・職務内容	3. 募集人員
先端マテリアル科学 コース	機械材料科学分野における教育・研究	准教授，講師（任期なし） または助教（任期5年，再任可，再任 後は任期を定めない）1名

4. 応募資格：

博士又は Ph. D. の学位を有し（もしくは採用日までに取得見込みであり），材料工学（例えば，構造材料，機能性材料，材料強度，材料組織解析，材料プロセス，マテリアルズインフォマティクス等）に関する分野において職種にふさわしい研究業績を有すること。機械材料科学関連分野の授業科目（例えば，材料強度学，材料組織学，構造材料プロセス，先端マテリアル科学実験／演習など，）と，全学共通科目ならびに学部共通科目が担当可能であること。当該分野に関する教育を修めた者で，当該分野の教員と連携して研究を積極的に推進する意欲を持ち，大学院博士後期・前期，学部学生の教育に熱意を持って取り組むことができること。

5. 採用予定年月日：2022年4月1日（金）以降のなるべく早い時期

6. 提出書類：①履歴書，②研究業績リスト，③主要論文の別刷（コピー可）およびその概要，④教育・研究・社会貢献活動報告書，⑤本学部における教育研究の抱負等，⑥応募者について問合せ可能な方のリスト（提出書類の記入要領は別紙のとおり），⑦それらのデータを保存した電子媒体
※「研究業績リスト」は別紙3，「教育・研究・社会貢献活動報告書」は別紙4を参照して記載してください。

7. 応募期限：2021年11月5日（金）（必着）

8. 送付先：〒761-0396 高松市林町2217番地20

香川大学創造工学部長 末永 慶寛

（「先端材料科学領域（機械材料科学分野）教員応募書類在中」と朱書の上，書留にて送付ください。）

9. 問合せ先：高松市林町2217番地20 香川大学創造工学部庶務係

TEL：087-864-2101，FAX：087-864-2032

E-mail：shomu-t@kagawa-u.ac.jp

または，先端材料科学領域 領域長 田中 康弘

TEL：087-864-2405，E-mail：tanaka.yasuhiro@kagawa-u.ac.jp

10. ホームページ：香川大学創造工学部 https://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/

11. 選考方法：第1次選考…書類審査

第2次選考…面接と模擬授業（第1次選考通過者対象）

2021年12月11日（土）に，香川大学創造工学部にて実施予定です。

詳細は，対象者に連絡します。第2次選考のための旅費は自己負担です。

12. その他：香川大学は男女共同参画を積極的に推進しており，選考にあたって業績（教育業績，研究業績）及び人物の評価等において同等と認められる場合は，本学部のジェンダーバランスに配慮して採用します。

本学における新規教員の給与は年俸制を適用します。また，人事給与マネジメント改革の一環として，学術研究や教育の活性化を図るため，若手教員の採用を積極的に推進しています。

大学教員経験が3年未満の場合は，採用後に本学「新任教員研修プログラム（2年間で40時間以上）」の受講対象者となります。

教員応募提出書類作成要領

- ① 履歴書
市販のもの、自作のものいずれでも結構です。必ず写真を貼付し、押印してください。
住所、氏名、生年月日、連絡先、学歴（高等学校卒業以降の全て、入学卒業年月を記載すること）、
職歴（非常勤講師を含む）等の他に所属学会もご記入ください。
- ② 研究業績リスト
著書、学術論文、国際会議プロシーディングス、登録特許、作品など、研究業績について、別紙3の
様式に準じて作成してください。
- ③ 主要論文の別刷及びその概要
研究業績リストに記載の主要な論文（5編以内）について、その内容をそれぞれ400字以内で簡潔
に説明し、併せてその別刷を添付してください。
- ④ 教育・研究・社会貢献活動報告書
教育活動、研究活動、社会貢献活動について、別紙4の様式に準じて記載してください。
- ⑤ 本学部における教育研究の抱負等（A4判用紙2枚以内）
香川大学創造工学部における教育研究の抱負、応募する専門分野及び職種等についての抱負を記述
してください。
- ⑥ 応募者について問合せ可能な方のリスト
応募する職位に応じて、下記の人数を挙げてください。
教授・准教授・講師に応募する場合は、国内外を問わず著名な研究者等から、3人以上、助教につい
ては2人以上とします。「著名」の判断は応募者に委ねますが、簡潔な説明文を添付してください。
なお、第1次選考通過者の方には、リストに記載の方、全員の推薦状を当日持参いただくことになり
ます。

研究業績リスト

- ・ I. 著書, II. 学術論文 (査読付き), III. 国際会議プロシーディングス (査読付き), IV. 登録特許, V. 作品, VI. 学術論文 (査読なし), VII. 学会発表 (査読なし), VIII. その他 (報告書等) に分けて, 項目別に通し番号をつけて記載してください。該当する業績がない項目は記載しないでください。
- ・ 著者名, 執筆者名の欄は, 応募者本人の氏名に下線を付してください。
- ・ 頁下段中央に頁数を付してください。

氏名 ○○○○

I. 著書

1. 著者名 : ○○○○ (単著)
著書名 : ○○○○○, 全300頁
出版社名 : ○○出版, ××××年
2. 著者名 : ○○○○ (分担執筆, 共著者 (又は監修, 編集者) : △△△△)
著書名 : ○○○○○, 全350頁 (担当箇所 : 第○章, 50~100頁)
出版社名 : ○○出版, ××××年

II. 学術論文 (査読付き)

1. 執筆者名 : ○○○○, △△△△, □□□□
論文題目 : ○○○○○
掲載誌名 : ○○学会論文集, 卷(号), pp.100-108, ××××年
※電子版で掲載頁番号が不明の場合は, 当該研究の頁数 (○頁) を記入してください。

III. 国際会議プロシーディングス (査読付き)

1. 執筆者名 : ○○○○, △△△△, □□□□
論文題目 : ○○○○○
掲載誌名 : Proceedings of ○○○○, pp.100-108, 2012
※電子版で掲載頁番号が不明の場合は, 当該研究の頁数 (○頁) を記入してください。

IV. 特許登録 (登録された特許についてのみ記載してください。)

1. 発明者名 : △△△△, ○○○○, □□□□
発明の名称 : ○○○○○
特許番号 : 特許第××××号, (登録年月日 : ××××年××月××日)

V. 作品 (建築作品, 知的財産として登録済みの意匠, 特許 (公開特許を含む) が採用された商品, テレビ・ラジオなどにより放送された作品, 劇場などで一般公開された作品 (音楽作品や映像作品等), 公募展の入選作品, 企画展の招聘作品, 展覧会の企画・キュレーション, 企画執行に係わった商品) ※商品には外部機関から評価されたソフトウェア・サービス等を含む。(作品の概要と関わりが具体的に分かる内容を記載してください。エビデンス (第三者機関やメディア (テレビ・新聞・雑誌・WEB 等) により公開された資料) があれば記載し, 添付してください。)

1. 製作者名 : △△△△, ○○○○, □□□□
作品の名称 : ○○○○○, ××××年, 発表場所
概要 :
関わり :
エビデンス :

VI. 学術論文 (査読なし) (上記のIIと同じ体裁で記載してください。)

VII. 学会発表 (査読なし) (上記のIIIと同じ体裁で記載してください。)

VIII. その他 (報告書等を適宜記載してください。)

教育・研究・社会貢献活動報告書

I. 教育活動, II. 研究活動, III. 社会貢献活動, IV. 自己評価・自己アピールについて, それぞれ以下のような事項について記載してください。

I. 教育活動

- ・主な教育活動歴（大学における授業担当, 学協会等における講習会の講師等も含む。）
- ・受賞歴（教育活動に関する受賞歴）
- ・教科書の執筆, 教材の開発等
- ・その他教育活動に関する業績

II. 研究活動

- ・受賞歴（研究活動に関する受賞歴, 全受賞者氏名, 表彰名称, 表彰業績名, 表彰主催団体名及び表彰年月日を明記してください。）
- ・学会, シンポジウム等における招待講演（本人の講演に限ります。）
- ・科学研究費補助金, 財団の助成金などこれまでに獲得した競争的研究資金（研究費の種類, 研究テーマ, 研究費を受けた期間及び研究費の金額を記載してください。）

III. 社会貢献活動

- ・学会, シンポジウム, 研究会などの組織・運営や役職など
- ・国及び地方公共団体等の審議会, 委員会等の委員（委員名称, 期間）
- ・学協会, 市民団体等への貢献活動

IV. 自己評価・自己アピール

これまでのご自身の教育・研究・社会貢献活動に関する自己評価・自己アピールを自由に記載してください。